

Profile

栄養専攻教授。管理栄養士。1977年女子栄養大学卒（栄養学専攻）。1978年国立公衆衛生院修了（栄養学専攻）。2005年女子栄養大学大学院（保健学修士）。1979年千葉県衛生部（救急医療センター）勤務。1982年東京金属事業健康保険組合健康管理室（勤続27年5ヶ月）。1995年東京都社会保険協会食生活講師。2003年高輪メディカルクリニック食事相談室顧問。2009年聖徳大学人間栄養学部非常勤講師。2010年明和学園短期大学非常勤講師、准教授を経て2019年4月より現職。2013年二葉栄養専門学校非常勤講師。2014年群馬大学教育学部非常勤講師。2015年和洋女子大学非常勤講師。2015年東京工科大医療保健学科非常勤講師。2018年東日本栄養医薬専門学校非常勤講師。2018年おない内科クリニック栄養相談室勤務。



学生へメッセージ

「体のしくみ」を学修し、「何をどれだけ食べたらいいいのか？」を知り、「何をどれだけ食べているのか？」は自らを症例として、食事摂取量を算出し、食品中の栄養素等についても学修し、理解を深めましょう。「自分をアセスメント・栄養ケア」をして毎日の生活・食事の大切さを認識しましょう。

食の現状や各ライフステージの食生活について、グループワークなどから関心や知識を深め、食の世界の深さと栄養士の役割や重要性を感じてほしいと思っています。

栄養士の資格を得るうえで 食事に関心を持つこと、自らが実践すること、そして、自らが健康であり、元気に生活していることが栄養士のプロフェッショナル姿勢であると思っています。これから先のライフステージにおいて「自分をアセスメント・栄養ケア」できるプロフェッショナル栄養士を目指して一緒に学修しましょう。